

第139回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月7日（木）16：00～16：11
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

4ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

7月6日現在の療養者の状況です。

入院者が156人、うち重症者が0人となっています。

入院者数は、6月15日以降、100人を下回っておりましたが、7月4日以降、100人を上回っております。

療養者数は、合計で1,183人となっており、6月25日以降、1,000人を下回っておりましたが、7月6日に1,000人を上回りました

次に、6ページです。

新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は55.15人で、6月5日以降、50人を下回っておりましたが、7月6日に50人を上回りました。

次に、8ページ、病床使用率は21.0%で、6月17日以降、10%を下回っておりましたが、7月6日にはレベル2の基準である20%を超えております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数です。

64.53人で、6月26日以降、50人を下回っておりましたが、今月に入ってから増加傾向にあり、7月5日以降50人を超えております。

次に、13ページです。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

南相馬市、いわき市、福島市が50人を上回っており、それ以外の市においては50人を下回っておりますが、いずれの市もレベル3の水準となっております。

次に、14ページ、保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

相馬市においては300人を超えており、喜多方市は100人に近い水準で推移しております。

二本松市、本宮市においては25人を上回っておりレベル3、伊達市、田村市においてはレベル1の水準となっております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(13.2%)、「人口10万人当たりの療養者数」(64.53人)、
「PCR陽性率」(10.7%)、
「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(55.15人)が、レベル3、
「病床の使用率」(21.0%)が、レベル2、
「重症者用の病床使用率」(0.0%)、「感染経路不明者の割合」(47.1%)が、レベル1となっております。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

17ページ、資料3をお願いします。

【資料4】

1 接種実績につきましては、7月5日時点で、3回目接種の回数が、1,275,655回、全人口に対する接種率は68.5%となっております。

また、4回目の接種回数は22,674回となっております。

資料中段の囲みの部分、想定される7月末累計の対象者、約153万2千人に対する3回目の接種率は83.3%となっております。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が37.4%、2回目が34.1%となっております。

資料下段「参考」につきましては、首相官邸ホームページの「3回目接種の年齢階級別接種率の実績」の抜粋になります。80歳代を除いて、本県は全国を上回っております。

次ページをお願いします。

本県の令和4年6月末における3回目接種対象者約152万6千人の年代別の接種率について、令和4年6月30日時点の状況をとりとまとめた資料になります。

50歳代以上では80%を超え、特に60歳代以上ではいずれも90%以上となっております。

また、30歳代及び40歳代では70%台、20歳代では60%台、12歳から19歳の年代では50%台の接種率となっております。

次ページをご覧ください。

ワクチン接種の取り組みについてになります。

今月、12歳から17歳までの方を対象とした3回目の接種と、ノババックス社ワクチンによる、18歳以上の方を対象とした1回目から3回目の接種を県内4地域で実施をいたします。

また、県内各市町村で、多くの自治体で4回目接種も始まっております。

現時点では、ワクチン接種は9月30日までとなっております。

感染予防や重症化予防のため、お早めに接種を受けられるようお願いいたします。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

本日の陽性者は251名で、先週は84名でしたから、実に1週間で3倍弱の増加になっております。

これは全国的な傾向ではあるものの、本県においても厳しい状況であると思えます。

オミクロン株は、何度も言いますが、デルタ株よりも軽症とは言われておりますが、特定のある集団においては、当然医療が求められることとなります。

実際に、本県においても病床使用率は徐々に上昇してきております。

このまま急速な増加ということになりますと、病床が埋まってしまい、すなわちその先は入院が出来ない。これは求められる医療が提供出来ないということになります。

これは、どうしても避けなければいけない状況になります。

今は個々人が自分の感染対策を本当にしっかり出来ているのかという再確認をしてもらいたい。

もう一つは、いつも一緒にいる方以外の人との接触、あるいはいつも取る行動と違った行動を少しお控えいただくことが賢明なのかなと考えてございます。

(知事)

はじめに、厳しい暑さが続く中、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力をいただいている医療関係者の皆様に、心から御礼を申し上げます。

また、感染拡大を防ぐため、長期間にわたり、御理解、御協力を頂いている県民の皆様、事業者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

全国における1日当たりの新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を大幅に上回る日が続いており、昨日(6日)は、約2か月ぶりに4万5千人を超えるなど、急速に感染が拡大しています。

本県においても、6月末までは減少傾向が続いていましたが、7月に入り、1日当たりの新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続いており、感染の再拡大に転じています。

全国的に感染者数が増加している要因の一つとして、感染力が強いとされるオミクロン株のBA.5系統への置き換わりが指摘をされており、本県においても、先週、1件確認されています。

国立感染症研究所では、今後、国内においてBA.5系統の占める割合が上昇する可能性があるとしており、福島県においても感染者数や重症者数の状況を注視していく必要があります。

こうした状況を踏まえ、引き続き、基本的な感染対策の徹底に努めていく必要があります。一方で、今年は例年よりも梅雨明けが早く、厳しい暑が続いています。

マスクの着用は熱中症のリスクが高まりますので、屋外で、人と人の距離が十分確保できる場合や、距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合は、マスクを外すようにしましょう。

加えて、屋内で過ごす場合には、適切な換気をお願いします。

エアコンを使用中でも、窓やドアなどを開ける、屋外が高温のため窓を開けにくい場合には、換気扇を併用するなど、換気をしながら涼むようにしてください。

特に、熱中症になりやすい御高齢の方、お子様、障がいをお持ちの方は、より注意が必要です。周囲の方からも積極的なお声掛けをお願いします。

全国的に感染者数が急速に増加をしており、本県においても感染が拡大しています。

県民の皆様、事業者の皆様においては、感染の再拡大を防ぐため、熱中症に気をつけながら、引き続き、基本的な感染防止対策を徹底し、症状がある場合は登校や出勤を控え、早めに医療機関を受診されることや、旅行や帰省等移動する際には、体調管理や移動先の感染情報を把握するなど、「感染防止のための基本対策」に取り組んでいただくようお願いいたします。